



小池雄一

修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生 2回目のロックダウンだ。8月26日から9月8日まで。職員は在宅勤務。今はシステムでデータ管理されているから、館内でシステムオペレーションできないければテレワークもできる。昔は何でも手作業でやってきたけど、今はシステム管理のため逆に融通がきかないのだ。限定的に出動する当直の職員がシステムオペレーションでできる場合には処理してもら

える。そんな不安定極まりない対応となる。鈴木 じゃあ、秋山君の入国予定も少し考え直さなければね。他にも影響が出ているんじゃない？ 佐生 ロックダウンの影響

イミグレ総局、二度目のロックダウン!?

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木 鈴木 大変だ、大変だ、シンシナティから異動になった秋山君の新規テレワークスビザが出てこないよ。お、やっとなBKKPM(投資調整庁)推薦状が取れて申請が出来たと思つたのにどうなっちゃっているのさあ？

佐生修郎 イミグレ総局が新型コロナウイルスの感染対策で閉館(ロックダウン)してしまつたんだ。今、全館消毒中。その影響でテレワークスビザのプロセスが滞っている。

鈴木 あれ？ イミグレ総局は8月12日から21日までロックダウンしていて、24日に業務再開したばかりだったよね。

佐生 2回目のロックダウンだ。8月26日から9月8日まで。職員は在宅勤務。今はシステムでデータ管理されているから、館内でシステムオペレーションできないければテレワークもできる。昔は何でも手作業でやってきたけど、今はシステム管理のため逆に融通がきかないのだ。限定的に出動する当直の職員がシステムオペレーションでできる場合には処理してもら

響は限定的だ。駐日インドネシア大使館でのビザ発給や地域イミグレでの延長処理には影響はない。鈴木 こんな中で何か良い情報はないの？ 佐生 沢山あるさ。BKKPM推薦状はバックログが溜まっているけど順次発行されているし、そのおかげで新規就労ビザが取れている。地域イミグレでのITAS(滞在許可)延長は順調に処理出来ている。ITAS保持者の再入国だつて空港でスムーズに入国出来ている。

鈴木 良い点もあるのだね。佐生 もうひとつ。日本に退避中の人に「朗報」がある。

鈴木 日本滞在中にITAS期限が切れちゃつた人だね。「9月8日」までに入国してITAS延長申請しなければならなかった。それを過ぎるとITASが失効してしまうのだよね。

佐生 それが今回新たに改訂されたのだ。国外退避中でITAS期限が切れた駐在員や家族は今年の「12月31日」までに入国してITAS延長手続きを開始すればよいということになった。

鈴木 うわあ、それは筒香君が喜ぶよ。奥さまとお子さんがインドネシアに戻って来るべきかどうか迷っていたんだ。ITAS延長の為に戻ってきて、延長処理が済んだら再度日本へ退避しようと思つていたらいい。

佐生 それなら、今回の慌ただしい入国予定は一旦キャンセルしてもよいかもね。

鈴木 12月31日まで様子を見ながら入国のタイミングを話し合うことができる。来るか来ないか、判断への猶予期間が出来たことだね。

佐生 注意点をひとつ指摘しておこう。入国日を12月下旬にはしないことだ。インドネシア特有の問題だけど、5月のレバラン期間に予定されていた一斉休暇取得奨励日が年末に移動することになっている。イミグレ当局は12月24日から年始まで休館になるぞ。だから、遅くとも12月上旬での入国スケジュールを練る事が肝要だ。

鈴木 わかつた。それにしても、突然当局がロックダウンしたり、期限日が変わったたり、変化が激しくてついていけないよ。

佐生 きつちり予定通りにこなす事が得意な多くの日本人にとっては振り回されていると感じるよね。本当にそうだと思う。でも、外国では臨機応変に対応できるスキルの方が重要とも言える。臨機応変さを訓練できる場と考えれば案外イライラせずに入力して行けるのかもね。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。54歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。

佐生修郎 心得えの条

一 イミグレ総局がウイルス対策で2回目のロックダウンをしている。テレワークスビザ発行が滞る可能性があるため入国スケジュール策定に余裕を持つこと。

二 インドネシアでは、特にコロナ禍では行政当局の対応やルールが頻繁にしかも突然変わることがある。訓練だと思つて臨機応変に対応すること。